



水道産業新聞社

大阪本社 電話(06)6373-3603
FAX(06)6373-3633
〒531-0072 大阪市北区豊崎2-7-9
東京本社 電話(03)6435-7644
FAX(03)3438-0025
〒105-0003 東京都港区西新橋3-5-2

多様化する
ライフラインの
維持管理
ニーズに応える

www.taiseikiko.com

大成機工株式会社

水道・下水道
水の総合専門紙

日本専門新聞協会加盟

水道産業新聞ホームページ
http://www.suidou.co.jp

下水道展'18北九州閉幕 来年は横浜で

最優秀出展者は積水化学と大成機工

下水道展'18北九州が27日、盛況のうちに閉幕した。24日から4日間の期間中、会場の西日本総合展示場には下水道関係者や市民ら計3万1611人が来場し、住民の暮らしを支え、地域の未来を拓く下水道の最新技術・製品などに触れ、理解と親しみを深めた。出展者と来場者が生み出した熱気は、来年の開催地である横浜市に受け継がれる。

27日午前には出展者表彰式がパブリックゾーンで開かれた。初日と2日目の来場者の投票により決まるもので、4小間以上のブースでは積水化学工業、3小間以下のブースでは大成機工が最優秀賞を受賞した。主催者代表である岡久宏史・日本下水道協会理事長から表彰状とトロフィーを受け取った大成機工の鈴木仁・社長は「当社の創業者

は、現場が必要とするものを作れと遺訓を残しており、我々は創業以来77年間守り続けている。今後も一つひとつ努力を積み重ねていきたい」と述べ、積水化学工業の高田英・環境・ライフラインカンパニー九州支店土木システム営業所長は「多くのすばらしいブースがある中から当社を選んでいただき感謝している。当社は『応える技術』をテーマに展示を行ったが、今後も下水道事業が抱える課題に対し真摯に

取り組んでいく」と話した。

優秀賞については、4小間以上のブースでは西島製作所、メタウォーター、安川電機、国土交通省、3小間以下のブースでは北九州ウォーターサービス、鹿島建設、石川県、九電工が受賞した。

また、パブリックゾーンに設けられた九州地方の16自治体による「オール九州・下水道コーナー」が、今回の下水道展に特別な貢献をしたとして特別賞を受賞し、16自治体を代表して有田仁志が表彰状とトロフィーを受け取った。

トロフィーを手に笑顔を見せる出展者表彰受賞者ら



積水化学工業のブース



大成機工のブース